

YOUTH MANNA

Grace
Community
2024
Be

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/6/3(月)

出エジプト記40:1-15

幕屋建設と祭司任職に向けたすべての製作が完了し、それらが並べられた後、主から設営と聖別の命令がなされました。(2.9)聖別は神様のために特別に取り分けて献げるという意味です。神様の言葉通りに従って作り設営をし、神様に特別にささげて用いてもらう礼拝はどれほど素晴らしいものとなったでしょう。

私たちの日々の歩みも主の日ごとの礼拝も、すべてを神の栄光のために仕上げをしてくださる方に「今日一日もあなたに期待します。」と祈って出ていきましょう。

2024/6/4(火)

出エジプト記40:16-38

モーセは神様の命令に最初から最後まで忠実に従い幕屋の設営がここで完了します。幕屋が設営された時会見の天幕を雲が覆いました。それは主の臨在の現れであり、神様が喜んでくださった証でもありました。エジプトを出る時も留まって滞在する時も雲の導き(神様の導き)があったことが思い出されたでしょう。イスラエルの民をいつも雲が導いていたということは、神様がいつも共にいたということです。

- ・覚えよう！！神様が共にいてくださることこそ真の祝福です。
- ・祈ろう！！神様が共にいてくれることがはっきりと分かる一日にしてください。

2024/6/5(水)

ガラテヤ1:1-10

異邦人のガラテヤの諸教会に入り込んだ問題は間違った福音でした。(6.7)それは「救われるためにはキリストを信じるだけでなく、神の民ユダヤ人のように割礼を受け、モーセの律法に従う必要がある」という律法主義でした。またパウロは使徒ではないという訴えもありました。パウロは2つとも否定し、間違った道に導く人は呪われるようにと厳しく言っています。
・はっきりと間違った教えではなくても私たちもこの世の価値の方が良く思うなど福音から心が離れてないだろうか？
・福音の真理がもっと分かるように祈ろう！！

2024/6/6(木)

ガラテヤ1:11-24

使徒と呼ばれるためにはイエス様と直接お会いし共に過ごした人である必要があります。パウロはイエス様が天にあげられてから救われてるので使徒ではないと訴えられました。しかしパウロは教会を迫害するほど熱心なユダヤ教徒だったのに(13.14)神様と直接出会って救われ、使徒たちからではなくキリストからの直接の啓示によって福音の内容を知りました。迫害者だったパウロを神様は母の胎内から選んでおられ(15)驚くべき方法で救い、そのことで人々は神様をあがめました。(23.24)

・母の胎内から私を選んでくれる神様をパウロのように証や生き方によって伝えられますように。

2024/6/7(金)

ガラテヤ2:1-10

パウロが初代教会のリーダーたちの所へ行き、正式に使徒とされるシーンだ。
●7-9vを読もう。ここで表現を変えながら3回繰り返されて、強調されていることがあるよ。それは何か？下の穴埋めを参考にしね。

・パウロは_____の所へ行って宣教

・ペテロは_____ (ユダヤ人)へ宣教

●神様の働きはクリスチャンそれぞれに与えられていて、違っていてイイってことだ。それぞれの違いを認めることが、神の国の拡がりにつながる。そのためには、まず自分の役割を知り、次に相手をよく知るのが大事だよ。きみが今すべきことは何だろう？家族、学校、教会でできることは何か？

2024/6/8(土)

ガラテヤ2:11-21

当時の人たちは、教会のリーダーさえも決まりをきっちり守っていたユダヤ人たちとそれ以外の異邦人を区別していた。それに対して「もし行動で救われるならイエス様が十字架にかかってくださった意味はない」と、救いは正しい行ないで手に入るものではないことがはっきり書かれているね。

神様は、ただイエス様を信じる信仰によって私たちを義としてくださるんだ。それ以外の条件はないのは神様からの恵みだね。自分のために十字架にかかってよみがってくださったイエス様の恵みがどれほど大きいかわかって考えてみよう！

2024/6/9(日)

ガラテヤ3:1-14

パウロはガラテヤにある教会の人々に「律法」か「信仰」のどちらによって生きるのかということを問いかけているね。
実際の生活において考えてみると、これは難しい問題だね。私たちがクリスチャンとしてふさわしく歩みたいと願うことは良いことだけど、それを自分の力で成し遂げようとする点が罫となるんだ。神様に頼らず、自分の力に頼る生き方にはどんな危険性があるだろうか。考えてみよう。

信じた私たちの内に神の御霊がおられることを信じて受け取ろう。そして御霊によって歩めるように、聖霊を求めて祈ろう！